

令和5年  
秋田市における交通事故状況

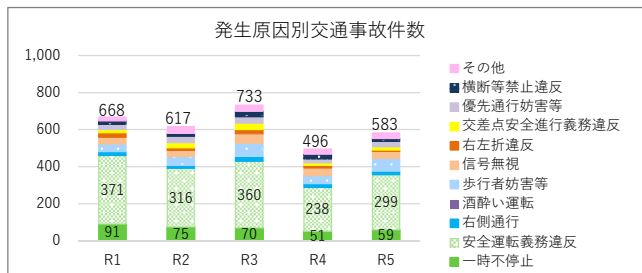
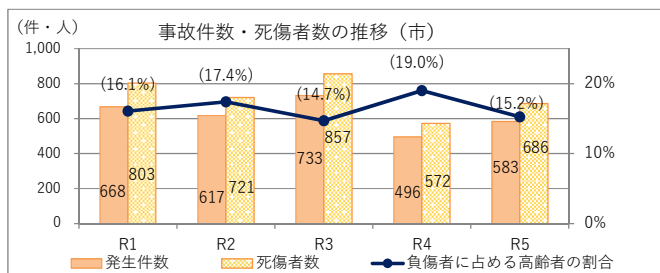
1. 全体、年齢別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

年	秋田県								秋田市							
	件数	死者数			負傷者数			重傷者数	件数	死者数			負傷者数			重傷者数
		全数	中学生以下	65歳以上	全数	中学生以下	65歳以上			全数	中学生以下	65歳以上	全数	中学生以下	65歳以上	
R1	1,514	40	0	27	1,830	86	376	250	668	7	0	2	796	28	128	71
R2	1,377	37	0	26	1,655	82	363	251	617	9	0	6	712	29	124	81
R3	1,301	28	1	23	1,514	82	321	186	733	6	0	5	851	52	125	68
R4	1,157	33	0	21	1,351	77	331	188	496	4	0	1	568	34	108	61
R5	1,155	32	0	21	1,339	76	266	170	583	4	0	1	682	38	104	55

・第11次目標：R3～R7 年間交通事故死者数4人（27人）以下、重傷者数64人（200人）以下  
 ※（ ）は県目標

2. 発生原因別交通事故数

	R1	R2	R3	R4	R5
総数	668	617	733	496	583
一時不停止	91	75	70	51	59
安全運転義務違反					
ハンドル操作不適	3	2	8	1	3
ブレーキ動作不適	77	43	94	68	55
前方不注意	141	128	128	80	116
動静不注視	54	50	47	35	43
安全不確認	93	88	80	50	78
安全速度	3	2	2	0	1
予測不適	0	0	0	1	0
その他	0	3	1	3	3
計	371	316	360	238	299
右側通行	20	16	23	19	18
酒酔い運転	0	1	2	0	0
歩行者妨害等	42	47	72	45	70
信号無視	35	34	51	41	37
右左折違反	24	13	23	14	7
交差点安全進行義務違反	17	28	35	13	18
優先通行妨害等	30	34	34	21	31
横断等禁止違反	18	17	30	26	14
その他	20	36	33	28	30



○状況等

本市における令和5年中の交通事故は、発生件数583件、死傷者数686人で前年と比較して、発生件数は87件、死傷者数は114人増加した。  
 全県の発生件数、死傷者数はそれぞれ減少しているものの、本市は増加しており、全県における交通事故のうち本市で発生している件数の割合は約50.5%で前年より7.6%増加、負傷者数は約50.9%で前年より8.9%増加している。  
 発生原因別事故では、前方不注意や安全不確認などの安全運転義務違反（全事故の51.3%）と一時不停止（全事故の10.1%）の法令違反、歩行者妨害等（全事故の12.0%）が原因となる事故が多く、これらで全体の7割以上を占める状況となっている。

3. 車種別の第一当事者となる交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

年	区分\場所	自転車	二輪車	乗用自動車	貨物自動車	その他(不明等)	合計
R1	発生件数	3 (0.4%)	2 (0.3%)	586 (87.7%)	74 (11.1%)	3 (0.4%)	668
	死者数	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	7
	負傷者数	3 (0.4%)	3 (0.4%)	698 (87.7%)	89 (11.2%)	3 (0.4%)	796
	重傷者数	0 (0.0%)	2 (2.8%)	61 (85.9%)	8 (11.3%)	0 (0.0%)	71
R2	発生件数	3 (0.5%)	3 (0.5%)	518 (84.0%)	90 (14.6%)	3 (0.5%)	617
	死者数	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (44.4%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)	9
	負傷者数	3 (0.4%)	5 (0.7%)	602 (84.6%)	99 (13.9%)	3 (0.4%)	712
	重傷者数	2 (2.5%)	0 (0.0%)	70 (86.4%)	9 (11.1%)	0 (0.0%)	81
R3	発生件数	5 (0.7%)	0 (0.0%)	628 (85.7%)	98 (13.4%)	2 (0.3%)	733
	死者数	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	6
	負傷者数	5 (0.6%)	0 (0.0%)	735 (86.4%)	109 (12.8%)	2 (0.2%)	851
	重傷者数	2 (2.9%)	0 (0.0%)	58 (85.3%)	8 (11.8%)	0 (0.0%)	68
R4	発生件数	2 (0.4%)	0 (0.0%)	415 (83.7%)	73 (14.7%)	6 (1.2%)	496
	死者数	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	4
	負傷者数	2 (0.4%)	0 (0.0%)	479 (84.3%)	79 (13.9%)	8 (1.4%)	568
	重傷者数	2 (3.3%)	0 (0.0%)	49 (80.3%)	9 (14.8%)	1 (1.6%)	61
R5	発生件数	5 (0.9%)	1 (0.2%)	503 (86.3%)	74 (12.7%)	0 (0.0%)	583
	死者数	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	4
	負傷者数	5 (0.7%)	1 (0.1%)	591 (86.7%)	85 (12.5%)	0 (0.0%)	682
	重傷者数	3 (5.5%)	0 (0.0%)	44 (80.0%)	8 (14.5%)	0 (0.0%)	55

4. 類型別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

事故類型	年次	総数	人 対 自動車				自転車 対 自動車				自動車相互				車両単独			
			発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
R1	668	81	5	82	14	102	0	102	16	479	2	604	39	6	0	8	2	
R2	617	84	4	83	27	109	1	108	20	414	2	512	30	8	2	7	3	
R3	733	103	4	100	30	140	1	139	17	479	1	601	18	6	0	6	1	
R4	496	65	0	67	26	65	0	65	11	355	2	426	20	9	2	8	2	
R5	583	89	3	86	21	96	0	96	14	387	1	484	14	6	0	11	3	

事故類型	年次	人 対 自転車				自転車相互				自転車単独				列車			
		発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R2	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R3	5	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R4	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R5	3	0	3	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0

5. 安全運転管理者選任事業所の事故発生件数、死者数、負傷者数 ※重傷者数統計なし

年\区分	事業所数	発生件数		死者数		負傷者数	
R1	1,297	162	(24.3%)	1	(14.3%)	196	(24.6%)
R2	1,315	141	(22.9%)	2	(22.2%)	160	(22.5%)
R3	1,335	149	(20.3%)	0	(0.0%)	173	(20.3%)
R4	1,477	123	(24.8%)	1	(25.0%)	135	(23.8%)
R5	1,520	154	(26.4%)	2	(50.0%)	182	(26.7%)

○状況等

交通事故の第一当事者を車種別に見ると、乗用・貨物自動車の発生件数が全事故の約99.0%と最も多い。

発生件数の類型別で最も多いのは自動車相互の387件（全事故の66.4%）で、次いで自転車対自動車が96件（同16.5%）、人対自動車が89件（同15.3%）となっている。

安全運転管理者選任事業所が起きた事故数は154件（全事故の26.4%）、負傷者数は182人（同26.7%）とそれぞれ前年よりも増加しており、死者数は2人となっている。

6. 道路別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

種別	国道				県道	市道	自専道	その他道路	合計	
	7号	13号	341号	計						
R1	発生件数	52	50	2	104	213	306	8	37	668
	死者数	2	1	0	3	2	2	0	0	7
	負傷者数	67	61	5	133	262	347	11	43	796
	重傷者数	3	7	2	12	17	41	0	1	71
R2	発生件数	56	58	0	114	191	262	3	47	617
	死者数	1	2	0	3	3	1	0	2	9
	負傷者数	68	71	0	139	227	292	3	51	712
	重傷者数	9	3	0	12	25	40	0	4	81
R3	発生件数	62	42	0	104	241	342	2	44	733
	死者数	2	0	0	2	2	2	0	0	6
	負傷者数	78	51	0	129	278	395	2	47	851
	重傷者数	8	2	0	10	16	35	0	7	68
R4	発生件数	46	35	0	81	137	242	0	36	496
	死者数	0	1	0	1	0	3	0	0	4
	負傷者数	65	41	0	106	147	275	0	40	568
	重傷者数	5	1	0	6	18	32	0	5	61
R5	発生件数	50	51	0	101	194	265	0	23	583
	死者数	1	0	0	1	1	2	0	0	4
	負傷者数	53	70	0	123	235	301	0	23	682
	重傷者数	3	6	0	9	15	30	0	1	55

※「その他道路」とは、港湾道路・林道・農免道路・公園道路等である。

7. 道路地形別、形状別、線形別交通事故発生件数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

種別	地形			形状					線形				
	市街地	非市街地	計	交差点	単路	踏切	一般交通の場	計	カーブ	直線	一般交通の場	計	
R1	発生件数	607	61	668	411	228	0	29	668	24	615	29	668
	死者数	5	2	7	3	4	0	0	7	0	7	0	7
	負傷者数	717	79	796	481	283	0	32	796	32	732	32	796
	重傷者数	60	11	71	49	22	0	0	71	6	65	0	71
R2	発生件数	552	65	617	406	167	0	44	617	25	548	44	617
	死者数	8	1	9	3	4	0	2	9	1	6	2	9
	負傷者数	629	83	712	472	193	0	47	712	30	635	47	712
	重傷者数	69	12	81	57	20	0	4	81	2	75	4	81
R3	発生件数	674	59	733	493	199	1	40	733	23	670	40	733
	死者数	4	2	6	5	1	0	0	6	0	6	0	6
	負傷者数	782	69	851	574	233	1	43	851	25	783	43	851
	重傷者数	62	6	68	45	17	0	6	68	4	58	6	68
R4	発生件数	454	42	496	313	152	0	31	496	18	447	31	496
	死者数	3	1	4	4	0	0	0	4	0	4	0	4
	負傷者数	522	46	568	356	178	0	34	568	22	512	34	568
	重傷者数	57	4	61	41	15	0	5	61	5	51	5	61
R5	発生件数	524	59	583	364	199	0	20	583	34	529	20	583
	死者数	4	0	4	0	4	0	0	4	1	3	0	4
	負傷者数	609	73	682	426	236	0	20	682	38	624	20	682
	重傷者数	47	8	55	37	17	0	1	55	5	49	1	55

※市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって住宅、事業所等が連立している状態であり、その地域における建造物（敷地を含む。）の占める割合が80%になるいわゆる市街地的形態をなしている地域をいう。

○状況等

交通事故発生件数を道路別で見ると、市道が265件（全事故の45.5%）、県道が194件（同33.3%）、国道が101件（同17.3%）、その他道路が23件（同3.9%）、自動車専用道路が0件となっているが、道路延長距離から見た10km当たりの発生件数は、国道が最も高くなっている。（※参考：道路別10km当たりの発生件数 国道19.4件、県道5.5件、市道1.3件）。

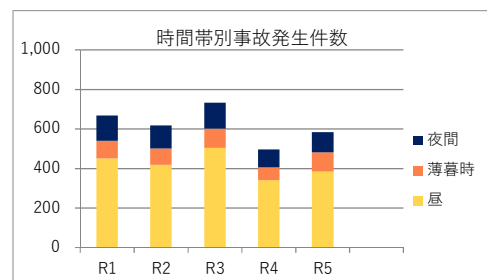
道路の地形別で見ると非市街地より市街地（全事故の89.9%）での事故が多く、道路形状別では交差点（同62.4%）での事故が多い。また、道路線形別では、直線での事故（同90.7%）が最も多い。

8. 時間別 昼(日の出～日没まで(薄暮時を除く)、薄暮時(日の出・日没の前後1時間)、夜間(日没～日の出まで)における交通事故件数、死者数、負傷者数(うち重傷者数)

年	区分\時間帯	昼	薄暮時	夜間	合計
R1	発生件数	451 (67.5%)	89 (13.3%)	128 (19.2%)	668
	死者数	3 (42.9%)	0 -	4 (57.1%)	7
	負傷者数	548 (68.8%)	101 (12.7%)	147 (18.5%)	796
	重傷者数	52 (73.2%)	7 (9.9%)	12 (16.9%)	71
R2	発生件数	419 (67.9%)	82 (13.3%)	116 (18.8%)	617
	死者数	4 (44.4%)	0 -	5 (55.6%)	9
	負傷者数	479 (67.3%)	95 (13.3%)	138 (19.4%)	712
	重傷者数	50 (61.7%)	8 (9.9%)	23 (28.4%)	81
R3	発生件数	504 (68.8%)	98 (13.4%)	131 (17.9%)	733
	死者数	2 (33.3%)	0 -	4 (66.7%)	6
	負傷者数	588 (69.1%)	105 (12.3%)	158 (18.6%)	851
	重傷者数	48 (70.6%)	8 (11.8%)	12 (17.6%)	68
R4	発生件数	341 (68.8%)	64 (12.9%)	91 (18.3%)	496
	死者数	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	4
	負傷者数	391 (68.8%)	74 (13.0%)	103 (18.1%)	568
	重傷者数	36 (59.0%)	9 (14.8%)	16 (26.2%)	61
R5	発生件数	385 (66.0%)	96 (16.5%)	102 (17.5%)	583
	死者数	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	4
	負傷者数	467 (68.5%)	103 (15.1%)	112 (16.4%)	682
	重傷者数	33 (60.0%)	8 (14.5%)	14 (25.5%)	55

9. 飲酒事故発生件数、死者数、負傷者数(うち重傷者数)

年\区分	飲酒運転			
	件数	死者数	負傷者数	重傷者数
R1	6 (0.9%)	0 -	8 (1.0%)	0 -
R2	4 (0.6%)	0 -	4 (0.6%)	0 -
R3	4 (0.5%)	0 -	8 (0.9%)	0 -
R4	5 (1.0%)	0 -	6 (1.1%)	1 (1.6%)
R5	9 (1.5%)	0 -	10 (1.5%)	0 -



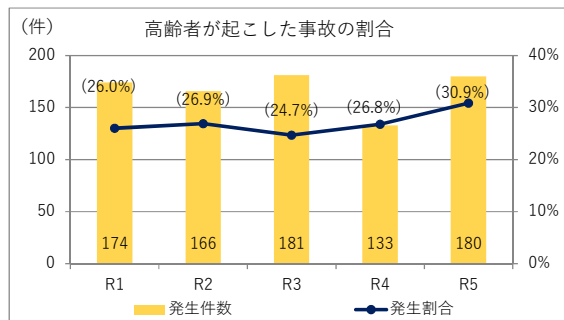
○状況等

交通事故発生件数を時間帯別に見ると、昼が385件(事故全体の66.0%)、夜間が102件(同17.5%)、薄暮時が96件(同16.5%)となっており、全ての時間帯において、前年と比較して事故数は増加、発生件数全体に占める割合は昼、夜間が減少し、薄暮時が増加している。

また、交通事故の総数に占める飲酒事故の割合は低い水準で推移している。しかし、依然として事故はなくなり、平成30年以降は死者こそ出ていないものの、重傷者が1名発生している状況である。

10. 発生事故のうち高齢者が起こした事故数、死者数、負傷者数（うち重傷者数）

	発生件数	死者数	負傷者数	重傷者数
R1	174 (26.0%)	2 (28.6%)	210 (26.4%)	18 (25.4%)
R2	166 (26.9%)	2 (22.2%)	189 (26.5%)	24 (29.6%)
R3	181 (24.7%)	0 (0.0%)	215 (25.3%)	19 (27.9%)
R4	133 (26.8%)	1 (25.0%)	143 (25.2%)	22 (36.1%)
R5	180 (30.9%)	1 (25.0%)	215 (31.5%)	19 (34.5%)



11. 高齢者の死傷状況

	R1	R2	R3	R4	R5
高齢死者数	2	6	5	1	1
歩行中	2 (100.0%)	3 (50.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
自転車運転中	0 -	1 (16.7%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
車運転中	0 -	2 -	0 -	1 -	0 -
車同乗中	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
高齢者負傷者数	128	124	125	108	101
歩行中	21 (16.4%)	29 (23.4%)	33 (26.4%)	24 (22.2%)	25 (24.8%)
自転車運転中	24 (18.8%)	23 (18.5%)	21 (16.8%)	13 (12.0%)	15 (14.9%)
車運転中	57 (44.5%)	55 (44.4%)	56 (44.8%)	48 (44.4%)	44 (43.6%)
車同乗中	26 (20.3%)	17 (13.7%)	15 (12.0%)	23 (21.3%)	17 (16.8%)
高齢者重傷者数	25	35	33	30	21
歩行中	9 (36.0%)	17 (48.6%)	17 (51.5%)	15 (50.0%)	9 (42.9%)
自転車運転中	5 (20.0%)	7 (20.0%)	6 (18.2%)	7 (23.3%)	4 (19.0%)
車運転中	8 (32.0%)	8 (22.9%)	5 (15.2%)	5 (16.7%)	5 (23.8%)
車同乗中	3 (12.0%)	3 (8.6%)	5 (15.2%)	3 (10.0%)	3 (14.3%)

○状況等

交通事故発生件数の増加に伴い、高齢者が起こした事故件数も180件と、前年と比較して47件増加している。さらに、全事故に占める高齢者が起こした事故の割合は昨年度より4.1%増加している。

また、高齢者の死傷状況は、死者4人のうち高齢死者1人と全死者の25.0%であり、歩行中に事故にあっており、負傷者は682人のうち高齢者が101人で全負傷者の14.8%だが、重傷者は55人のうち高齢者が21人で全重傷者の38.2%を占めており、高齢者ほど重傷事故となるケースが多い状況である。状態別で見ると、車運転中が44人で高齢負傷者の43.6%と最も多い。

12. 子どもの死傷状況

	R1	R2	R3	R4	R5
子ども死者数	0	0	0	0	0
歩行中	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
自転車運転中	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
車同乗中	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
子ども負傷者数	28	29	52	34	38
全負傷者数に対する割合	3.5%	4.1%	6.1%	6.0%	5.6%
歩行中	7 (25.0%)	4 (13.8%)	19 (36.5%)	10 (29.4%)	9 (23.7%)
自転車運転中	6 (21.4%)	3 (10.3%)	13 (25.0%)	11 (32.4%)	10 (26.3%)
車同乗中	15 (53.6%)	22 (75.9%)	20 (38.5%)	13 (38.2%)	19 (50.0%)
子ども重傷者数	4	1	8	2	3
歩行中	2 (50.0%)	0 (0.0%)	6 (75.0%)	0 -	0 (0.0%)
自転車運転中	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)
車同乗中	0 -	1 -	0 -	0 (0.0%)	0 (0.0%)

13. ゾーン30の指定区域数

※令和5年3月末現在

警察署名	区域数	指定区域場所
臨港署	6	飯島南小・飯島中、高清水小・将軍野中、土崎南小、土崎小、寺内小、土崎港中央（病院・高齢者施設付近）
中央署	14	中通小学校、牛島小学校、旭北小学校・山王中学校、八橋小学校、勝平小学校、日新小学校、明德小学校、保戸野すわ町・中町・通町、旭南小学校付近、川尻小学校、泉・八橋、仁井田小学校付近、築山小学校、大住小学校
東署	4	東小、旭川小、広面小、桜小・桜中付近

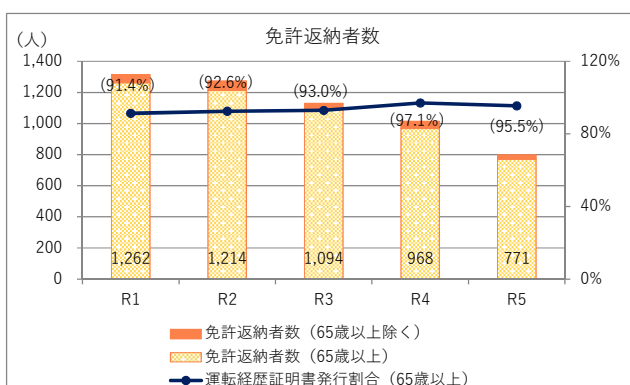
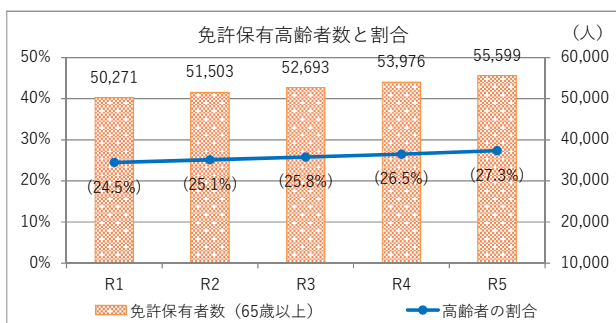
○状況等

子どもの死傷状況では、平成26年から死者数はなし。負傷者は38人で全事故負傷者数の5.6%となっている。令和2年度まで減少傾向にあった子どもの負傷者数の割合は令和3年に若干増加し、その後横ばいとなっている。

状態別で見ると、車同乗中が19人（50.0%）で前年より11.8%増加し、自転車運転中が10人（26.3%）と、前年に比べて割合が6.1%減少している。重傷者についても自転車運転中の事故による案件が毎年発生していることから、子どもへの効果的な交通安全教育等を一層推進する必要がある。

14. 免許人口、免許返納者数

年度		免許保有者数	免許返納者数	運転経歴証明書 発行者数	返納割合	運転経歴証明書 発行割合
R1	総数	205,264	1,314	1,201	0.6%	91.4%
	うち65歳以上	50,271 (24.5%)	1,262	1,153	2.5%	91.4%
R2	総数	204,801	1,273	1,178	0.6%	92.5%
	うち65歳以上	51,503 (25.1%)	1,214	1,124	2.4%	92.6%
R3	総数	204,260	1,130	1,048	0.6%	92.7%
	うち65歳以上	52,693 (25.8%)	1,094	1,017	2.1%	93.0%
R4	総数	203,674	1,014	978	0.5%	96.4%
	うち65歳以上	53,976 (26.5%)	968	940	1.8%	97.1%
R5	総数	203,331	799	758	0.4%	94.9%
	うち65歳以上	55,599 (27.3%)	771	736	1.4%	95.5%



・免許返納にかかる協賛店舗数(県警ホームページより)  
373店舗(全県)うち秋田市48店舗 ※令和5年1月1日現在

○状況等

免許返納者総数、65歳以上の免許返納者数ともに、令和2年以降減少に転じている。また、返納者の大半が運転経歴証明書の交付を受けている状況である。

15. シートベルト着用率 (全県)

年\区分	シートベルト着用率(%)		
	運転席	助手席	後部座席
R1	99.6	96.8	38.2
R2	99.4	98.4	41.3
R3	99.6	94.6	48.5
R4	99.8	98.0	42.9
R5	99.9	98.8	42.3

※一般道においてJ A Fと合同調査(毎年10月中の3日間)

○状況等

運転席や助手席においてはほとんどの人がシートベルトを着用しているが、後部座席での着用率は4割程度に留まっている。

全国平均は、運転席99.2%、助手席97.1%、後部座席43.7%であり、秋田県のシートベルト着用率は全国平均とほぼ同程度となっている。

16. 踏切事故発生件数

年\区分	発生件数
R1	0
R2	0
R3	1
R4	0
R5	0

17. 冬期間事故発生件数 (12月～3月)

	R1	R2	R3	R4	R5
発生件数	185	279	229	179	149
死者数	6	5	0	0	0
負傷者数	216	339	275	211	173
重傷者数	26	24	27	28	25

○状況等

令和5年度は踏切事故の発生がなかった。

冬期間の事故発生状況については、発生件数、負傷者数はいずれも前年と比較して減少している。。また、全重傷者に占める割合は45.5%と高く冬期間の事故は重傷事故につながるがケース多い状況である。そのため、冬期間の交通安全について引き続き啓発等の安全対策に取り組む必要がある。